

子どもと福祉 Vol.8

特集1 いま、福祉現場が危ない！——虐待対応と相談援助

特集にあたって（山野良一）

- 〔事例1〕 児童「相談」所よ、どこへいく？（佐藤真由美）
- 〔事例2〕 虐待対応で失ったもの——児童相談所はどこへいくのか（石橋勝美）
- 〔事例3〕 相談援助を行うためのしくみ作り、組織作り、人づくりを（平野政典）
- 〔事例4〕 家族の生活の匂いを感じたい——相談援助の現実と理想（熊崎昌二）
- 〔事例5〕 いま、児童相談所があぶない？（岡崎秋香）
- 〔事例6〕 小さい人とともにいますか？（喜多一憲）
- 〔事例7〕 子どもと職員の生活の場の再建（山口薫）
- 〔事例8〕 子どもへの支援の理想と現実（熊谷伊紗）
- 〔事例9〕 養育・支援がつながる配置と組織体制を（前田佳代）
- 〔まとめ1〕 喜びは埋もれている（川崎二三彦）
- 〔まとめ2〕 福祉現場の危機と職員への期待（二宮直樹）

特集2 子どもに「伝える」ための工夫

特集にあたって（大森信也）

- 〔事例1〕 子どもの自立支援計画書を子どもと共に作成する（相澤知奈実）
- 〔事例2〕 “人・情報・タイミング”の見極め（畑山麗衣）
- 〔事例3〕 「生い立ちの整理」に取り組む意味とは（藤田哲也）
- 〔事例4〕 あなたらしく、誇らしく、命かがやかせて（岩田裕美）
- 〔事例5〕 「本当はどうなの？」——真実と向き合うために（菅野道英）
- 〔事例6〕 施設入所に至るストーリーを共有する（小田友子）
- 〔事例7〕 伝えたいことは子どもの未来につながる言葉（瀧本友子）
- 〔事例8〕 「伝えたい」ことと「わかる」こと（野坂聡）
- 〔事例9〕 日々の仕事の中で（西川光）
- 〔まとめ1〕 「伝える—伝えられる」という真摯な営みを支えるもの（樽原真也）
- 〔まとめ2〕 真実告知と子どもの最善の利益（望月彰）

クローズアップ

社会的養護の制度をめぐる動向と今求められている課題——職員配置基準の改定、家庭的養護推進計画及び都道府県推進計画、被措置児童等虐待対応、第三者評価等をめぐって

(武藤素明)

児童虐待対策の動向と課題 (佐藤隆司)

当事者の語り

人の温かさに支えられて (富田翔子)

つばさ園での成長、そして福祉への恩返し (佐藤走野)

人と人のめぐり合わせに感謝 (池田雅子)

現場実践レポート

児童養護施設職員等に関する「人材育成」「人材発掘」の取り組み——山口県子どもソーシャルワーク研究会の活動 (金本秀韓)

経験を通して——子どもに寄り添う大切さ (今井紗知子)

グループホームで過ごした日々を振り返って (鈴木喜子)

東日本大震災津波と私の 1461 日の軌跡 (米澤克徳)

東日本大震災からの 4 年間とこれから (三輪佳那子)

研究報告

実践的ソーシャルワーカーを育てる——大学と児童家庭福祉の現場をつなげる取り組み (渡邊忍)

児童養護施設における「生き立ちの整理」に関する研究——全国児童養護施設調査より (寺崎千華)

エッセイ

子どものシェルターと司法面接 (一場順子)

社会的養護出身者を対象にした「夢の奨学金」立ち上げに向けて (芳川龍郎)

書評

『うたえほん』『うたえほんⅡ』(評者・伊東沙保)

『にんじん』(評者・石動仁)

『行為障害と非行のことがわかる本』(評者・八木光子)

『戦争と福祉についてボクらが考えていること』(評者・白坂岳)

『タイムマシン心理療法——未来・解決志向のブリーフセラピー』(評者・斎藤憲子)